

成育医療等基本方針に基づいた指標の直近値算出

研究代表者	山縣 然太郎	（国立成育医療研究センター成育こどもシンクタンク）
研究分担者	上原 里程	（国立保健医療科学院疫学・統計研究部）
研究分担者	尾島 俊之	（浜松医科大学医学部医学科健康社会医学講座）
研究分担者	市川 香織	（東京情報大学看護学部看護学科）
研究分担者	相田 潤	（東京科学大学大学院医歯学総合研究科）
研究分担者	後藤 あや	（福島県立医科大学総合科学教育研究センター）
研究分担者	甲賀 かをり	（千葉大学大学院医学研究院産婦人科学）
研究分担者	森崎 菜穂	（国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部）
研究分担者	竹原 健二	（国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部）
研究分担者	松浦 賢長	（福岡県立大学看護学部）
研究分担者	永光 信一郎	（福岡大学医学部小児科）
研究協力者	秋山 有佳	（山梨学院大学栄養学部）
研究協力者	新井 猛浩	（山形大学地域教育文化学部）
研究協力者	島田 怜実	（東京科学大学大学院医歯学総合研究科）
研究協力者	石塚 一枝	（国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部）
研究協力者	三好 しのぶ	（国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部）

研究要旨

本研究は成育基本法における成育医療等基本方針に基づいた指標の直近値を算出した。指標策定時に、統計法等規定される既存統計にあるものを指標にすることとしたこともあって、69指標のうち62指標で直近値を算出できた。分析は次年度となる。

A. 研究目的

本研究は成育基本法における成育医療等基本方針に基づいた指標の直近値を算出することを目的とした。

B. 研究方法

指標のベースラインの際に用いたデータソースと算出方法を用いて、69 の指標の直近値を算出した。

C. 研究結果

結果は参考資料に表で示した。

D. 考察

指標を作成する際に、人口統計など統計法に基づく既存のデータであることを優先したので、大半の指標値については直近値の算出が可能であった。他方で、7 指標ほど 5 年に一度の調査などの理由でタイミングが合わない指標があったが、これについては最終評価で算出が可能である。

E. 結論

成育医療等基本方針の推進に資するために、令和 7 年度実施予定の指標の中間評価に向けて方法の検討および評価シートの作成を実施した。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

- 1) 健やか親子 21 妊娠・出産・子育て期の健康に関する情報サイトへの「成育医療等基本方針に基づく施策の実施状況に関する評価指標」の一覧表及びグラフの提供 <https://index.infanthces.ncchd.go.jp/pub/>
(2025 年 5 月 26 日確認)

参考資料 指標直近値一覧（2025年5月28日 暫定版）

成育医療等基本方針に基づく評価指標

（別紙1）

番号	指標分類	指標名	国レベルのデータソース等	国レベルの指標		
				現状値	2025.3.31 最新値	中間評価（3年後）の 目標値
周産期						
妊産婦の保健・医療提供体制						
1	監視指標	産婦死亡率	人口動態統計	2.5（出産10万対） （令和3年）	3.1（出産10万対） （令和5年）	—
2	監視指標	新生児死亡率	人口動態統計	0.8（出生千対） （令和3年）	0.8（出生千対） （令和5年）	—
3		母体・新生児搬送数のうち受入困難事例の件数	救急搬送における医療機関の受け入れ状況等実態調査	医療機関への受入れ照会回数 4回以上：525件 現場滞在時間30分以上：1,171件 （令和2年）	医療機関への受入れ照会回数 4回以上：982件 現場滞在時間30分以上：2,215件 （令和4年）	減少
4		妊娠11週以内での妊娠の届出率	地域保健・健康増進事業報告	94.8% （令和3年）	94.5% （令和5年）	増加
5		産科医師数（出生千対）	医師・歯科医師・薬剤師統計		【参考値】15.4（令和4年）	
6		新生児科医師数（出生千対）	日本周産期新生児学会調べ		【参考値】1.63（令和5年） *都道府県管轄のため国の目標値なし。 学会のホームページ上で令和7年4月2日 現在の新生児専門医数を把握したため、 令和5年の正確な値ではない点に注意	
7		助産師数（出生千対）	衛生行政報告例		【参考値】49.4（令和4年）	
8		妊産婦の居住する市町村の母子保健事業について、妊産婦に個別に情報提供を行っている周産期母子医療センター数	周産期医療体制調査			
9		妊娠届出時に面談等を行い、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握し、必要な支援を実施している	母子保健課調査		【参考値】99.9%（令和5年）	
10		支援が必要な里帰り出産する方について里帰り先の市町村及び医療機関と情報共有・連携する体制がある（市町村数）	母子保健課調査		【参考値】95.8%（令和5年）	

番号	指標分類	指標名	国レベルのデータソース等	国レベルの指標		
				現状値	2025.3.31 最新値	中間評価（3年後）の 目標値
産後うつ						
11		産後1か月時点での産後うつのハイリスク者の割合	母子保健課調査	9.7% (令和3年)	9.8% (令和5年)	減少
12		産後ケア事業の利用率	母子保健課調べ	6.1% (令和3年)	—	増加
13		妊娠中の保健指導（母親学級や両親学級を含む）において、産後のメンタルヘルスについて、妊婦とその家族に伝える機会を設けている	母子保健課調査		【参考値】65.2%（令和5年）	
14		ハイリスク妊産婦連携指導科1・2届出医療機関数	保険局医療課調べ		—	
15		精神科医療機関を含めた地域の関係機関との連携体制がある（市町村数）	母子保健課調査		【参考値】37.2%（令和5年）	
低出生体重児						
16		全出生数中の低出生体重児の割合	人口動態統計	1,500g未満：0.8% 2,500g未満：9.4% (令和3年)	1,500g未満：0.8% 2,500g未満：9.6% (令和5年)	減少
17		BMI18.5未満の20～30歳代の女性の割合	国民健康・栄養調査	18.1% (令和元年)	20.2% (令和5年) 令和7年3月公表	減少 (令和14年度の目標値 15%)
18		妊婦の喫煙率	母子保健課調査	1.9% (令和3年)	1.6% (令和5年)	0%
19	監視指標	妊娠中のパートナーの喫煙率	母子保健課調査	—	— 令和5年度妊娠中のパートナーの喫煙率項目なし	—
妊産婦の口腔						
20		妊産婦の歯科健診・保健指導受診率	地域保健・健康増進事業報告	歯科健診：30.3% 保健指導：20.3% (令和3年)	歯科健診：32.1% 保健指導：25.4% (令和5年) 令和7年3月公表	増加
21		妊産婦の歯科健診を実施している（市町村数）	地域保健・健康増進事業報告		【参考値】1180（令和5年）	
流産・死産						
22		流産・死産をされた方の情報を把握する体制がある（市町村数）	母子保健課調査		【参考値】78.5%（令和5年）	

番号	指標分類	指標名	国レベルのデータソース等	国レベルの指標		
				現状値	2025.3.31 最新値	中間評価（3年後）の 目標値
乳幼児期						
小児の保健・医療提供体制						
23	監視指標	小児の死亡率の減少	人口動態統計	乳児死亡率：1.7 1～4歳死亡率：13.8 (令和3年)	乳児死亡率：1.8 1～4歳死亡率：17 (令和5年)	—
24		小児救急搬送症例のうち受け入れ困難事例の件数	救急搬送における医療機関の受け入れ 状況等実態調査	医療機関への受け入れ照会回数 4回以上：4,977件 現場滞在時間 30分以上：9,680件 (令和2年)	医療機関への受け入れ照会回数 4回以上：15,347件 現場滞在時間 30分以上：33,678件 (令和4年)	減少
25		かかりつけ医（医師・歯科医師など）をもっていること の割合(再掲：乳幼児の口腔)	母子保健課調査	医師 3・4か月児：79.9% 3歳児：89.6% 歯科医師 3歳児：52.7% (令和3年)	医師 3・4か月児：77.9% 3歳児：89.5% 歯科医師 3歳児：51.5% (令和5年)	医師 3・4か月児：85.0% 3歳児：95.0% 歯科医師 3歳児：55.0%
26		小児人口当たりの小児科医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	【参考値】103 (令和4年)		
27		乳幼児健康診査後のフォロー体制がある(市町村数)	母子保健事業の実施状況等調査	【参考値】85.9% (令和5年)		
28		乳児のSIDS死亡率	人口動態統計	9.1 (令和3年)	6.3 (令和5年)	減少
乳幼児の口腔						
29		むし歯のない3歳児の割合	地域保健・健康増進事業報告	89.8% (令和3年)	92.3% (令和5年)	増加 (令和14年度の目標値 95%)
30		かかりつけ医（医師・歯科医師など）をもっていること の割合(再掲：小児の保健・医療提供体制)	母子保健課調査	医師 3・4か月児：79.9% 3歳児：89.6% 歯科医師 3歳児：52.7% (令和3年)	医師 3・4か月児：79.2% 3歳児：89.5% 歯科医師 3歳児：52.2% (令和4年)	医師 3・4か月児：85.0% 3歳児：95.0% 歯科医師 3歳児：55.0%
31		保護者が子どもの仕上げがきをしている割合	母子保健課調査	【参考値】69.7% (令和5年)		

番号	指標分類	指標名	国レベルのデータソース等	国レベルの指標		
				現状値	2025.3.31 最新値	中間評価（3年後）の 目標値
学童期・思春期						
こどもの生活習慣						
32		児童・生徒における瘦身傾向児の割合	学校保健統計調査	16歳(高校2年生)女子:2.33% <参考> 10歳(小学5年生) 男子:2.32%、女子:2.36% 13歳(中学2年生) 男子:2.73%、女子:3.22% 16歳(高校2年生)男子:3.34% (令和3年)	16歳(高校2年生)女子:2.87% <参考> 10歳(小学5年生) 男子:2.9%、女子:2.98% 13歳(中学2年生) 男子:3.17%、女子:3.56% 16歳(高校2年生)男子:3.67% (令和6年)	減少
33		児童・生徒における肥満傾向児の割合	学校保健統計調査	10歳(小学5年生)男子:12.58% <参考> 10歳(小学5年生)女子:9.26% 13歳(中学2年生) 男子:10.99%、女子:8.35% ・16歳(高校2年生) 男子:10.64%、女子:7.20% (令和3年)	10歳(小学5年生)男子:12.73% <参考> 10歳(小学5年生)女子:9.1% 13歳(中学2年生) 男子:11.69%、女子:8.38% ・16歳(高校2年生) 男子:10.94%、女子:6.77% (令和6年)	減少
34		朝食を欠食することの割合	全国学力・学習状況調査	5.6% (令和4年)	6.1% (令和5年)	0% (令和7年)
35		1週間の総運動時間（体育授業を除く）が60分未満の児童の割合	全国体力・運動能力・運動習慣等調査	小学5年生 男子:8.8% 女子:14.4% 中学2年生 男子:7.8% 女子:18.1% (令和3年)	小学5年生 男子:9.1% 女子:16.0% 中学2年生 男子:9.7% 女子:21.8% (令和6年)	小学5年生 男子:4.4% 女子:7.2% 中学2年生 男子:3.9% 女子:9.1% (令和8年までの目標値)
36		中学生・高校生の飲酒者の割合	厚生労働科学研究	2.2% (令和3年)	2.2% (令和3年)	0%
37		中学生・高校生の喫煙者の割合	厚生労働科学研究	0.6% (令和3年)	0.6% (令和3年)	0%

番号	指標分類	指標名	国レベルのデータソース等	国レベルの指標		
				現状値	2025.3.31 最新値	中間評価（3年後）の 目標値
こどもの心の健康						
38		十代の自殺死亡率	人口動態統計	10～14歳 2.4（男2.2/女2.6） 15～19歳 11.5（男13.4/女9.4） （人口10万対） （令和3年）	10～14歳 2.3（男2.1/女2.6） 15～19歳 12.1（男12.7/女11.5） （人口10万対） （令和5年）	減少
39		スクールカウンセラーを配置している小学校、中学校、高等学校の割合	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査	小学校：94.2% 中学校：98.3% 高等学校：93.3% （令和3年）	小学校：96.9% 中学校：98.8% 高等学校：95.2% （令和5年）	増加
40		小児人口に対する親子の心の問題に対応できる技術を持った小児科医の割合	（一社）日本小児科医会調べ	9.5 （令和4年10月時点）	【参考値】9.3（令和7年4月時点） 小児科医会ホームページ参照2025年4月時点、 小児人口最新値は2023年であることに注意	増加
41		小児人口に対する子どものこころ専門医の割合	（一社）子どものこころ専門医機構調べ	4.8 （令和4年4月時点）	【参考値】6.6（令和7年3月時点） 子どものこころ専門医機構のホームページ（2025.4参照）の専門医数（2024.8現在数）であり、 小児人口最新値は2023年であることに注意	増加
プレコンセプションケア						
42		十代の人工妊娠中絶率	衛生行政報告例	3.3 （令和3年）	3.8 （令和5年）	減少
43		十代の性感染症罹患率	感染症発生動向調査	性器クラミジア感染症：2.31 淋菌感染症：0.69 尖圭コンジローマ：0.21 性器ヘルペスウイルス感染症：0.25 梅毒：242 ※実数による報告 （令和3年度）	性器クラミジア感染症：2.38 淋菌感染症：0.71 尖圭コンジローマ：0.2 性器ヘルペスウイルス感染症：0.27 梅毒：451 ※実数による報告 （令和4年度）	減少
学童期・思春期の口腔						
44		う蝕のない十代の割合	学校保健統計調査	71.7% （令和3年）	74.9% （令和6年）	増加 （令和14年の目標値 95%）
45		歯肉に疾病・異常がある十代の割合	歯科疾患実態調査	19.8% （平成28年）	10～14歳：36.6% 15～19歳：22.4% （令和4年）	減少 （令和14年の目標値 10%）

番号	指標分類	指標名	国レベルのデータソース等	国レベルの指標		
				現状値	2025.3.31 最新値	中間評価（3年後）の 目標値
障害児（発達障害児を含む）等						
46		放課後児童クラブ登録児童数のうち障害児の割合	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況調査	3.9% （令和4年）	4.3% （令和6年）	増加
47		小児の訪問看護利用者数	地域医療計画課		【参考値】10017人（令和5年度） ベースラインとは異なる調査より集計していることに注意	
48		市町村における発達障害をはじめとする育てにくさを感じる親への早期支援体制整備への支援を県型保健所が行っている（都道府県数）	母子保健課調査	14.7% （令和3年）		増加
49		発達障害児の療育を提供できる施設数	社会福祉施設等調査		【参考値】児童発達支援：13,412 放課後等デイサービス：21,122 （令和5年）	
50		小児の訪問看護を実施している訪問看護ステーション数	地域医療計画課			
51		医療的ケア受け入れ保育所等施設数	保育課調べ		【参考値】526（令和2年）	
52		医療的ケア児支援センターを設置している（都道府県数）	障害保健福祉部企画課調べ	40都道府県 （令和5年）	40都道府県 （令和5年）	増加 （令和8年度末の目標値 各都道府県に設置）
53		医療的ケア児等コーディネーターを配置している（市町村数）	障害保健福祉部企画課調べ			
54		移行期医療支援センターを設置している（都道府県数）	難病対策課調べ	7（15%） （令和3年）	11（23%） （令和7年4月時点） ベースライン値とは異なる調査である点注意	増加
全成育期						
子どもの貧困						
55		スクールソーシャルワーカーを配置している小学校、中学校、高等学校の割合	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査	小学校：73.1% 中学校：76.3% 高等学校：43.1% （令和3年）	小学校：79% 中学校：81.3% 高等学校：50.9% （令和5年）	増加
56	監視 指標	子どもの貧困率	国民生活基礎調査	13.5% （新基準：14.0%） （平成30年）	11.5% （令和3年）	—
57	監視 指標	ひとり親世帯の貧困率	国民生活基礎調査	48.1% （新基準：48.3%） （平成30年）	44.5% （令和3年）	—

番号	指標分類	指標名	国レベルのデータソース等	国レベルの指標		
				現状値	2025.3.31 最新値	中間評価（3年後）の 目標値
児童虐待						
58		出生0日児の虐待死亡数	「子ども虐待による死亡事例等の 検証結果等について」の報告書	9人 (令和元年)	9人 (令和4年) 第20次報告	減少
59		児童虐待による死亡数	「子ども虐待による死亡事例等の 検証結果等について」の報告書	心中以外：57人 心中：21人 (令和元年)	心中以外：56人 心中：16人 (令和4年)	減少
60		妊婦健康診査の未受診者を把握し支援する体制がある (市町村数)	母子保健課調査		【参考値】79.2% (令和5年)	
61		乳幼児健康診査の未受診者を把握し支援する体制がある (市町村数)	母子保健課調査		【参考値】99.6% (令和5年)	
62		乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てを している親の割合	母子保健課調査	3・4か月児：94.7% 1歳6か月児：85.1% 3歳児：70.0% (令和3年)	3・4か月児：94.6% 1歳6か月児：86.1% 3歳児：71.1% (令和5年)	3・4か月児 95.0% 1歳6か月児 85.0% 3歳児 70.0%
63		育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	母子保健課調査	80.9% (令和3年)	79.5% (令和5年) 3・4か月児：78.3% 1歳6か月児：78.9% 3歳児：81.2%	90%

番号	指標分類	指標名	国レベルのデータソース等	国レベルの指標		
				現状値	2025.3.31 最新値	中間評価（3年後）の 目標値
ソーシャルキャピタル						
64		この地域で子育てをしたいと思う親の割合	母子保健課調査	95.3% (令和3年)	94.9% (令和5年) ①3・4か月児：94.7% ②1歳6か月児：94.7% ③3歳児：95.2%	現状維持
65		ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合	母子保健課調査	3・4か月児：89.3% 1歳6か月児：81.0% 3歳児：75.7% (令和3年)	3・4か月児：89.2% 1歳6か月児：81.2% 3歳児：75.6% (令和5年)	3・4か月児：92% 1歳6か月児：85% 3歳児：75%
66		地域子育て支援拠点事業を実施している箇所数	地域子育て支援拠点事業実施状況		【参考値】8,016か所（令和5年度）	
父親支援						
67		子どもを持つ夫の家事・育児関連時間	社会生活基本調査	114分/日 (令和3年)	5年ごとの調査 令和3年の114分/日が最新値	増加
PDCAサイクル						
68		成育医療等基本方針を踏まえた協議の場を設置している（都道府県数）	母子保健課調査	現状値なし <参考> ・都道府県における母子保健連絡協議会等の設置 66.0%（令和3年） ・市町村における母子保健連絡協議会等の設置 46.0%（令和3年）	57.4%（27自治体） (令和5年)	増加
69		成育医療等基本方針を踏まえた計画を策定している市町村数（都道府県数）	母子保健課調査	現状値なし <参考> ・都道府県における母子保健計画の策定の状況（他の計画に含まれる場合を含む。）91.5%（令和3年） ・市町村における母子保健計画の策定の状況（他の計画に含まれる場合を含む。）88.1%（令和3年）	30.9%（538自治体） (令和5年)	増加

最新値算出：三好しのぶ（国立成育医療研究センター社会医学研究部研究補助員）